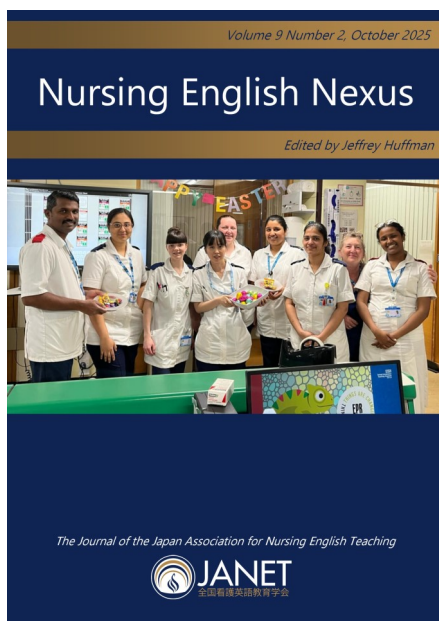


オーストラリアの看護師登録プロセスの分析： 日本人看護師にとっての大きな課題

岩崎愛美

県立広島大学三原キャンパス



Article citation

岩崎愛美. (2025). オーストラリアの看護師登録プロセスの分析：日本人看護師にとっての大きな課題. *Nursing English Nexus*, 9(2), 57-62.

Nursing English Nexus

<http://www.janetorg.com/nexus>

ISSN 2433-2305

Nursing English Nexus is made available under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International License. Authors retain the right to share their article as is for personal use, internal institutional use and other scholarly purposes. English Nursing Nexus and the articles within may be used by third parties for re-search, teaching, and private study purposes. Please contact the author directly for permission to re-print elsewhere.



オーストラリアの看護師登録プロセスの分析：日本人看護師にとっての大きな課題

岩崎愛美 (eiwasaki@pu-hiroshima.ac.jp)

県立広島大学三原キャンパス

要旨：世界保健機関（WHO）は、看護師に求められる実践スキルは普遍的であると定めている。日本では海外看護実習への関心は高いものの、実際に海外で働く看護師は少数である。本稿では、オーストラリアの外国人看護師登録制度を検証し、日本人看護師が直面する言語の壁、登録審査、ビザ取得などの課題を明らかにした。迅速登録プロセスは一部の国に限定され、日本は対象外である。その選定は国際基準と相互運用性に基づいており、日本の看護教育には国際基準とのギャップがある可能性が示唆される。

キーワード：オーストラリアの看護師登録制度、日本人看護師、日本の看護教育

著者プロフィール：岩崎愛美は、県立広島大学の准教授である。マッコーリー大学（シドニー）にて言語学の博士号を取得し、タスマニア大学にて看護学修士を取得したほか、マッコーリー大学にて他二つの修士を取得。シドニーには27年間在住し、オーストラリアで20年間看護師として登録。現在は、日豪で看護師登録資格を有している。

世界保健機関（WHO, 2020）は、看護師に求められる実務スキルは世界共通であるとしている。オーストラリアでは、国際基準を満たす教育制度を持つ承認国からの看護師に対し、迅速登録制度を導入し、積極的な移民政策の一環として海外人材を受け入れている。この制度はAHPRAの監督下で全国的に統一されており（Warnock, et al., 2011）、厳格な要件を満たしたIQNM（国際資格保有者）は、現地看護師と同等の資格として登録されている。2021/22年度までに、同等の管轄区域から5,000人を超える、国際資格を持つ看護師・助産師（IQNM）がオーストラリアに登録された（AHPRA, 2025j）。一方、日本人看護師は欧米、特にオーストラリアでの就労に強い関心を持っているが英語力や複雑な登録手続きなど、複数の障壁に直面しており、本稿ではその主な課題について検討する。

英語力

海外で働きたい日本の看護師にとって最大の課題は英語力不足である。英語力が低いとオーストラリア社会への適応や医療現場での安全な業務遂行が困難となる（Wellard & Stockhausen, 2010）。看護師は、患者や医療チームと円滑にコミュニケーションを取り、正確な記録を残す実践的な英語力が求められる。オーストラリアで看護師登録をするには、オーストラリア看護師・助産師委員会（Nursing and Midwifery Board of

Australia: 以下、NMBA）が定める高い英語基準を満たす必要がある（AHPRA, 2025d）。そのため、以下の指定された英語試験のいずれかに合格することが必須である。

- ケンブリッジ英検 - C1 Advanced または C2 Proficiency
- IELTS Academic - 7.0点以上（ライティングは6.5点以上）
- OET（職業英語テスト） - グレードB以上
- PTE Academic（ピアソン英語アカデミックテスト） - 66点以上
- TOEFL iBT - 94点以上

多くのオンライン英語試験は手軽に受験できるが、学術的な形式のため十分な準備が必要である。ケンブリッジ英検はCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）に準拠し、日本人にはC2レベル以上が推奨されている（Cambridge University Press & Assessment, 2025）。日本人のIELTSの平均点が5.5～6.0点台であるのに対し、オーストラリア看護師登録には7.0点以上（ライティングは6.5点以上）が求められる（AHPRA, 2025a; IELTS.org, 2025; Shrivastava, 2025）。PTE Academicは形式が独特で、準備が不可欠であり（Pearson PTE, 2025）、TOEFL iBTでは、オーストラリアのIQNM登録に94点以上が必要となる（TOEFLTestPrep.com, 2025）。OETは医療従事者向けの専門英語試験で4技能を評価し（OET, 2025）、B以上の成績が登録要件

である（AHPRA, 2025a）。医療英語に特化しているため、臨床経験のある看護師には適しているが、経験が浅い場合は難易度が高くなる。

オーストラリアの看護師登録プロセス

登録管轄

看護師登録にはオーストラリアの看護師登録を管轄するオーストラリア医療従事者規制庁（AHPRA）とNMBAによる厳格な審査と登録手続きを経る必要がある。日本の看護教育カリキュラムはオーストラリアの看護教育基準と同等とはみなされていないため、日本の看護師資格は、オーストラリアでは自動的に認められない。

成果に基づく評価（OBA）

かつては、海外で看護師資格を取得した人のためのブリッジング・プログラムがあり、数ヶ月から1年のコース終了後、臨床研修を修了し、正看護師として登録されていた。しかし、それは2020年3月に廃止され、2段階評価プロセスである成果主義評価（OBA）に置き換えられた（AHPRA, 2025k）。OBAは、英語能力試験に合格し、必要な手続きを経た後に受験可能である。知識と実践的なスキルは、表1に示すように、NCLEX-RNとOSCEを通じて評価される（AHPRA, 2025e）。

OBA試験は綿密な準備をすれば合格可能である（College of Nursing Education & Training Australia, 2020）が、合格できない受験者もいる（オーストラリア看護教育訓練大学、2020年）。一方、オーストラリアで看護学位を取得した場合はOBAが免除される。ただし、その場合、通常、英語の壁を乗り越えるために数年間語学学校に通い、その後オーストラリアの大学の2年生に編入する必要がある。そのため、多くの日本人看護師は、オーストラリアで看護師資格を取得するには少なくとも3～4年かかると予想される。

AHPRAによる国際認定への2つの道：英語能力と看護研修資格

AHPRAは、IQNMを評価する際に「国際規制管轄区域」と「ELS認定国」の2つの枠組みを用いている（AHPRA, 2025b）。ELSリストは英語能力に特化しており、一定条件下で英語試験が免除される場合が

表1

OBA試験の概要と料金

	試験名	試験の種類	受験料
第1段階	NCLEX-RN（看護国家資格試験）	コンピュータベースの多肢選択式試験（MCQ）	250 オーストラリアドル
第2段階	OSCE（客観的臨床能力試験）	シミュレーション・シナリオにおける臨床スキル、コミュニケーション能力、プロフェッショナリズムを評価する実践的な行動評価	4,000 オーストラリアドル (2025年8月現在) (AHPRA, 2025e)

注：助産師向けMCQ試験は、ASPEQ（ハイスタークス試験サービスを提供する世界的な機関）が世界各地に設置する試験センターで実施される（ASPEQ, 2025）

ある（AHPRA, 2025a; 2025g）が、認定国審査の結果によっては認定を取り下げられる例も出てきている。最近では、南アフリカが英語基準の不一致によりELSリストから除外された。これは、オーストラリアの基準を下回っていると判断されたためであり（AHPRA, 2025h）、移民看護師にとって英語能力が極めて重要であることを浮き彫りにしている。日本も同様に、英語基準が不十分とされ、ELS認定の対象外である。一方、国際規制管轄リストは専門訓練の同等性を評価し、資格審査を簡素化する可能性がある。

迅速登録の対象となる国際規制管轄区域

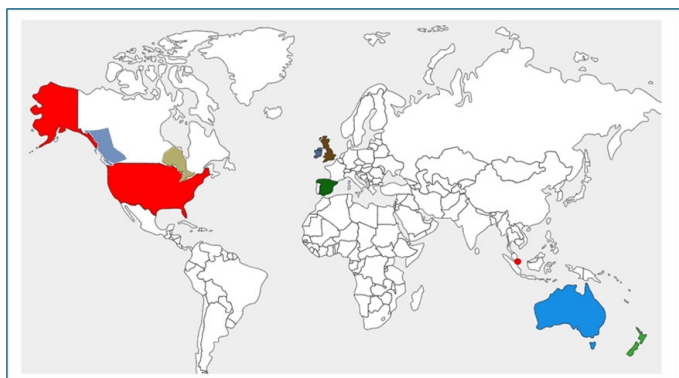
2025年4月に導入されたオーストラリアIQNMのための迅速登録制度は、特定の国や地域で資格を取得した看護師・助産師の登録手続きを簡素化することを目的としている。迅速登録の対象となる国と地域は図1に示されている。

AHPRA（2025j）によると、これらの国や地域は国際的な看護教育基準や臨床実習要件を満たし、オーストラリアと同様の医療制度を有している。これらの国からの申請者は、以下の条件を満たすことで迅速登録プロセスで臨床試験が免除される可能性が高い。

- これらの国または地域のいずれかの国民であること。
- 2017年以降、これらの国または地域のいずれかで正看護師として登録されていること。
- 1,800時間以上の看護経験があること。
- 英語力、犯罪歴、最近の職務経験、賠

図1

オーストラリア迅速登録の対象となる国・州の地図



注：この地図は、英国、アイルランド、米国、カナダのブリティッシュコロンビア州およびオンタリオ州、シンガポール、スペイン（迅速登録国／州）、ならびに1997年トランス・タスマン相互承認法（オーストラリア連邦法）に基づくニュージーランドとオーストラリアを示している。地図上の色分けは識別のみを目的としている。

償責任保険など、NMBAの登録基準をすべて満たしていること（AHPRA, 2025i）。

これらの要件を満たす申請者は、OBA評価が免除され、看護師登録期間も通常の9～12か月から1～6か月に短縮される。対象国で教育を受けていなくても、現地で必要な期間看護師として登録され、規制試験を完了していれば早期登録の対象となる場合がある（AHPRA, 2025j）。また、ニュージーランドの看護師・助産師はオーストラリアでの就業が認められる（AHPRA, 2025f）。

ビザ取得の難しさ：オーストラリアで働く外国人看護師の課題

オーストラリアで看護師または助産師として働くには、AHPRAによる登録申請とは別に、内務省が発行する就労ビザの申請が必要である（AHPRA, 2025c）。両申請は独立しており、片方が承認されてももう一方が保証されるわけではない。オーストラリアでは、看護師の職は一時滞在者よりも永住者に提供される可能性が高くなっている（NSW Health, 2025）。さらに、病院は、長期就労に特別なビザ手続きを必要とする外国人看護師よりも、オーストラリア市民または永住権を持つ看護師を優先する傾向がある（WA Department of Health, 2023）。特に都市部では競争が激しく、外国人看護師にはスポンサー付きビザ（例：サブクラス482）が求められることが多く、雇用主の判断には時間

がかかる場合がある（Australian Government Department of Home Affairs, 2025a）。

そのため、AHPRAはNMBA登録が承認される前に海外の職を辞したり、単独で渡豪することは避けるよう警告している。ビザ申請にあたっては、内務省の公式サイト（<https://www.homeaffairs.gov.au/>）や技能評価ページ（<https://immi.homeaffairs.gov.au/visas/working-in-australia/skills-assessment>）を確認し、最新情報を把握することが重要である。

すでに登録済みの看護師が地方部で働く場合、ビザや永住権取得の優遇措置を受けられる可能性がある（Australian Government Department of Home Affairs, 2025b）。ただし、これは都市部での勤務が制限されることを意味し、新しい生活環境への適応も課題となる。地方の看護師不足対策として導入されたこの制度は、外国人看護師のキャリア形成に影響を与える可能性がある（Villamin, Lopez, Thapa, & Cleary, 2023）。

考察

オーストラリアで迅速登録が認められている国々では、国際基準を満たす看護協会が設立され、看護師の国際的な移動を支援している。一方、日本は迅速登録の対象外であり、日本人看護師はOBA評価を含む複雑で費用のかかる登録プロセスを経る必要があり、高い英語力要件、雇用主によるビザ支援の困難さなど、複数の障壁が存在する。これらの課題は単なる言語力の問題ではなく、教育文化の違いにも起因している。StockhausenとKawashima（2003）は、日本人看護師がオーストラリアの教育環境で直面する言語・文化的な困難を指摘し、Kawashima & Petrini（2004）は日本の看護教育における能動的学習や批判的思考の不足を挙げている。さらに、KulbokとMitchell（2012）は、異文化理解や臨床技能、批判的思考力の強化が日本の看護教育に必要であるとし、教育は言語だけでなく文化的背景にも左右されると述べている。

AHPRAが南アフリカをELS認定から除外した決定は、国家レベルでの言語教育の重要性を示している。教育機関が国際基準を満たす体制を整えることが、将来的な優遇につながる可能性があり、

カナダのように認定が州ごとに異なる国では、政府の対応が制度整備に大きく影響する。

結論

日本の看護教育が国際基準と相互運用性を満たせば、日本人看護学生がオーストラリアで看護師として働く道が開かれる可能性があるが、現時点では、高い英語力、複雑な登録手続き、ビザ取得の困難など多くの障壁がある。これら乗り越えるには、体系的な英語学習、制度に関する情報収集、専門家への相談が不可欠となる。今後の研究では、日本が迅速登録対象国に含まれていない理由の解明が求められ、海外教育機関との連携や研修プログラムの強化が、日本人看護師の国際的な活躍を支える鍵となる。日本の教育機関は今こそ、看護教育の国際化に向けて積極的に取り組むべきである。

文献

- AHPRA. (2025a). *Accepted English language tests*. Retrieved July 12, 2025, from Australian Health Practitioner Regulation Agency: [https://www.ahpra.gov.au/Registration/Registration-Standards/English-language-skills/Accepted-English-language-tests.aspx#:~:text=All%20National%20Boards%20\(except%20the,by%20applicants%20from%20any%20profession.](https://www.ahpra.gov.au/Registration/Registration-Standards/English-language-skills/Accepted-English-language-tests.aspx#:~:text=All%20National%20Boards%20(except%20the,by%20applicants%20from%20any%20profession.)
- AHPRA. (2025b). *Applying for registration*. Retrieved from Australian Health Practitioner Regulation Agency: www.ahpra.gov.au/Registration/Applying-for-registration.aspx
- AHPRA. (2025c). *Before you apply*. Retrieved July 14, 2025, from Australian Health Practitioner Regulation Agency: <https://www.nursingmidwiferyboard.gov.au/Accreditation/IQNM/Before-you-apply.aspx#>
- AHPRA. (2025d). *English language skills registration standard*. Retrieved from Australian Health Practitioner Regulation Agency: www.ahpra.gov.au/Registration/Registration-

[Standards/English-language-skills.aspx](https://www.nursingmidwiferyboard.gov.au/Accreditation/IQNM/Examination.aspx)

- AHPRA. (2025e). *Examination*. Retrieved July 14, 2025, from Australian Health Practitioner Regulation Agency: <https://www.nursingmidwiferyboard.gov.au/Accreditation/IQNM/Examination.aspx>
- AHPRA. (2025f). *Fact sheet: Transition to a new assessment model for internationally qualified nurses and midwives*. Retrieved July 14, 2025, from Australian Health Practitioner Regulation Agency: https://www.nursingmidwiferyboard.gov.au/Codes-Guidelines-Statements/FAQ/Transition-to-a-new-assessment-model-for-internationally-qualified-nurses-and-midwives.aspx?_gl=1*1czdh46*_ga*MTMoNjgxNzMzMS4xNzUwOTk1ODM2*_ga_F1G6LRCHZB*cze3NTIoNTc2ODUkbzkkZzEkdDE3
- AHPRA. (2025g). *Frequently asked questions. What are the 'recognised countries'?* Retrieved from Australian Health Practitioner Regulation Agency: <https://www.ahpra.gov.au/Registration/Registration-Standards/English-language-skills/FAQ.aspx#>
- AHPRA. (2025h). *Frequently asked questions. Why is South Africa no longer a recognised country?* Retrieved August 16, 2025, from Australian Health Practitioner Regulation Agency: <https://www.ahpra.gov.au/Registration/Registration-Standards/English-language-skills/FAQ.aspx>
- AHPRA. (2025i). *Qualification and registration requirements*. Retrieved July 14, 2025, from Australian Health Practitioner Regulation Agency: <https://www.nursingmidwiferyboard.gov.au/Accreditation/IQNM/Before-you-apply/Meeting-the-registration-requirements.aspx>
- AHPRA. (2025j). *Streamlined pathway to registration for internationally qualified registered nurses*. Retrieved July 14, 2025, from

- Australian Health Practitioner Regulation Agency:
<https://www.ahpra.gov.au/News/2025-01-27-media-release-IQRN.aspx>
- ASPEQ. (2025). *Aspeq Exam Centres*. Retrieved July 12, 2025, from ASPEQ: <https://www.aspeq.com/support/exam-centres-2/>
- Australian Government Department of Home Affairs. (2025a). *(Subclass 482) Skills in Demand*. Retrieved July 11, 2025, from Australian Government Department of Home Affairs: <https://immi.homeaffairs.gov.au/visas/getting-a-visa/visa-listing/skills-in-demand-visa-subclass-482>
- Australian Government Department of Home Affairs. (2025b). *Subclass 491 Skilled Work Regional (Provisional) Visa*. Retrieved from Immigration and Citizenship: <https://immi.homeaffairs.gov.au/visas/getting-a-visa/visa-listing/skilled-work-regional-provisional-491>
- Cambridge University Press & Assessment. (2025). *Cambridge English C1 Advanced results*. Retrieved July 12, 2025, from Cambridge: <https://www.cambridgeenglish.org/exams-and-tests/advanced/results/>
- College of Nursing Education & Training Australia. (2020). *Outcome based assessment*. Retrieved July 13, 2025, from College of Nursing Education & Training Australia: <https://nursingeta.com/outcome-based-assessment>
- Government of Western Australia Department of Health Chief Nursing and Midwifery Office. (2023). *GradConnect - Frequently Asked Questions*. Retrieved July 31, 2025, from Government of Western Australia Department of Health Chief Nursing and Midwifery Office: https://www.health.wa.gov.au/~/_media/Corp/Documents/Careers/Nursing-and-Midwifery/Gradconnect/GradConnect-Jun-2023_FAQ.pdf
- IELTS.org. (2025). *Setting IELTS entry scores*. Accessed on July 14, 2025. Retrieved July 14, 2025, from IELTS.org: <https://ielts.org/>
- organisations/ielts-for-organisations/get-started-with-ielts/setting-ielts-entry-scores
- Kawashima, A., & Petrini, M. A. (2004). Study of critical thinking skills in nursing students and nurses in Japan. *Nurse education today*, 24(4), 286-292.
- Kulbok, P. A., Mitchell, E. M., Glick, D. F., & Greiner, D. (2012). International experiences in nursing education: A review of the literature. *International Journal of Nursing Education Scholarship*, 9(1).
- NSW Health. (2025). *Eligibility for GradStart*. Retrieved July 31, 2025, from NSW Health: <https://www.health.nsw.gov.au/nursing/employment/gradstart/Pages/eligibility.aspx>
- OET. (2025). *Results and scoring*. Retrieved July 12, 2025, from OET: <https://oet.com/test/test-overview/results-and-scoring>
- Pearson PTE. (2025). *Understand your PTE Academic Score*. Retrieved July 14, 2025, from Pearson: <https://www.pearsonpte.com/pte-academic/scoring/understand-your-score>
- Shrivastava, S. (2025). *Average IELTS Score 2025, Country Wise and Section Wise IELTS Score*. Retrieved 7 31, 2025, from <https://www.pw.live/study-abroad/ielts/exams/average-ielts-score>
- Stockhausen, L. J., & Kawashima, A. (2003). An evaluation of an Australian bachelor of nursing program for Japanese nurses: perceptions of Japanese nurses' learning experience. *Nurse Education in Practice*, 3, 212-219.
- TOEFLTestPrep.com. (2025). *Minimum TOEFL iBT® Score Required for MBA in USA*. Retrieved July 14, 2025, from <https://toefltestprep.com/blog/minimum-toefl-score-for-mba-in-usa>
- Villamin, P., Lopez, V., Thapa, D. K., & Cleary, M. (2023). Nurse migration to Australia: Past, present, and future. *Collegian*, 30(6), 753-761. <https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1322769623000483?via=ihub>
- Warnock, J., Banful, E., Foley, L., Gilheany, M., Hunter, A.-M., Loughry, C., & Tinley, P. (2011).

The national registration and accreditation scheme. *Journal of Foot and Ankle Research*, 4 (S1), 112. doi:10.1186/1757-1146-4-s1-i12

Wellard, S. J., & Stockhausen, L. J. (2010). Overseas trained nurses working in regional and rural practice settings: do we understand the issues? *Rural and Remote Health*, 10(3), 1-11.

WHO. (2020). *State of the world's nursing 2020: investing in education, jobs and leadership*. Geneva: World Health Organization.